

平成22年9月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

袋井市議会

# 一般質問通告議員

9月8日（水）

質問順序		ページ
1番	芝田禮二議員 ……	1
2番	寺井雄二議員 ……	2
3番	竹原和義議員 ……	3
4番	兼子春治議員 ……	4
5番	山田貴子議員 ……	5
6番	浅田二郎議員 ……	6

9月9日(木)

質問順序			ページ
7番	沼上賢次	議員	7
8番	高橋美博	議員	8
9番	寺田守	議員	9
10番	寺井紗知子	議員	11
11番	大場正昭	議員	12
12番	高木清隆	議員	15

質問順序	1	議席番号	1 3	質問者	芝田 禮二
主 題	要 旨				答弁者
1 市政運営	<p>(1) 政権交代について</p> <p>ア 民主党政権になって本市に与えた影響はどうか。</p> <p>(2) 新市施行5年にあたり</p> <p>ア 5年間市政を預かり総合計画等執行状況を含めどのように総括されようとするのか。</p> <p>イ 御自分で点数を付けるとしたなら100点満点で何点をつけられますか。</p> <p>(3) 昨年の選挙の公約について</p> <p>ア 新たに政策課題3点と平成22年度施政方針との整合はどうか。変更があるとしたなら市民へ説明すべきと考えるが。</p> <p>イ 「保健、医療、介護サービス」事業の構築をどのように進められるのか。</p> <p>ウ 新病院へのアクセスをどう考えるか。</p> <p>エ 「農を活かしたまちづくり」の6事業が、今、疲弊した袋井市農業の支持向上のカンフル剤と成り得るか。</p> <p>オ 袋井市農業の再生をどのように導こうとしているのか。</p> <p>カ 「昨秋、市は計画を白紙に戻した」とされる新聞報道の真意は。</p> <p>キ 改めて「にぎわい新都心まちづくり計画」国本地区のビジョンをお聞きしたい。</p> <p>ク 現在のこの地区の現状と本年度予算50万円で何をされようとしているのか。</p> <p>ケ 「地域産業イノベーション事業」の進捗はどうか。</p> <p>コ 小笠山山麓開発は、調査をしっかりとっていていつでも対応できるようにしておくべきだが。</p> <p>サ 「庁内検討組織」での進捗はどうか。</p> <p>(4) 生活安全条例の制定について</p> <p>ア 本市の条例制定のおくれは何か。</p> <p>イ いつまでに制定されるのか。</p>				市長
2 社会問題	<p>(1) 急増する若者の自殺について</p> <p>ア 自殺という負の連鎖を防ぐ行政の取り組みについての考えは。</p> <p>イ 自殺対策に当たる保健師の不足でフォローができない現状をどう考えるか。</p>				市長

質問順序	2	議席番号	7	質問者	寺井 雄二
主 題	要 旨				答弁者
1 道路問題	(1) 道路計画について ア 東同笠油山線の延長拡幅について (ア) どのように計画をされるのか。 いつ頃までに着手するのか。 また、この道路は両側歩道でいくのか。 農道規格の整備とされていくのか。				市 長
2 悪臭問題	(1) 畜産環境対策協議会について ア 畜産環境対策協議会について (ア) 協議会は今後どのように環境対策を進めようとしているか。 (イ) 協議会は今後畜産振興について、どのように進めていくのか。 役割 (ウ) 協議会の今後の活動方針は定められているのか。(継続としていくのか。)				市 長
3 住民問題	(1) 国民保護計画について ア 平素からの備えや予防について (ア) 住民に対して国民保護計画をどのように周知しようとしているか。 (イ) 自主防災隊に対する連携はどのように計画されているのか。 (ウ) 市の職員に対する研修はされているのか。				市 長
4 教育問題	(1) 人間づくりについて ア 幼稚園・学校における課題について (ア) 幼稚園や通常学級に在籍する発達障害児に対する支援員は充足されているのか。 (イ) 不登校の子供に対して教育長はどのような方針をもっているのか。				教 育 長
	イ 早期療育や成人後の発達障害を持っている方に対する長期的な支援のあり方について、袋井市長としてどのように理解をされているのか。				市 長

質問順序	3	議席番号	2	質問者	竹原和義
主 題	要 旨				答弁者
1 企業立地	(1) 支援制度について ア コールセンター設置の助成制度について イ 企業立地に頑張る「成功の市町村20選」の評価について ウ 企業立地推進員募集制度について エ 企業誘致成功報奨制度について オ 本市における企業誘致の現状と今後の対策について				市長
2 原野谷川二級河川	(1) 和口橋から諸井橋の維持管理について ア 原野谷川堤防ののり面・道路部分の維持管理、管理主体について イ 原野谷川左岸堤防の和口橋から諸井橋の通行障害について ウ 通行障害での交通事故発生時の責任所在について エ 原野谷川左岸堤防の和口橋から諸井橋の道路部分の草刈りを業者委託した場合の概算経費は。 オ 原野谷川左岸堤防の和口橋から諸井橋の道路部分を舗装工事した場合の概算経費は。				市長
3 河川環境保全対策	(1) 鳥羽野排水路環境問題について ア 鳥羽野排水路管理道路の維持管理の主体について イ 長溝自治会が年2回草刈りを実施しているが、これは任意か義務か。 ウ 「任意・義務」でない鳥羽野排水路の護岸、管理道路の草刈り事業を放棄した場合の罰則規定の有無 (2) 鳥羽野排水路法定外公共物の取り扱いについて ア 鳥羽野排水路には法定外公共物の赤線・青線が存続します。この管理形態は国か、袋井市なのか。 イ 民家に隣接する鳥羽野排水路の赤線・青線の維持管理について (3) 鳥羽野排水路景観事業について ア 鳥羽野排水路「彼岸花の里作り構想」について				市長

質問順序	4	議席番号	9	質問者	兼子春治
主 題	要 旨				答弁者
1 高齢者問題	(1) 所在不明の高齢者について ア 戸籍及び住民基本台帳について国からの指示と本市の対応は。 イ 高齢者の孤独死ゼロを目指した対応は。				市 長
2 地域づくり	(1) 個人情報保護と地域コミュニティについて ア 個人情報保護法の拡大解釈が個人主義を助長し、地域コミュニティ推進のネックとなっていると思うが。 (ア) 自治会や自主防等構成員5千人以下の団体は保護法の対象外と思うが。 (イ) 先進市で過剰反応にならないための個人情報取り扱い事例集自治会編・学校編を出しているが、本市の対応は。 (ウ) 過剰反応にならないために自治会長、自主防等各種団体への指導は。				市 長
3 まちづくり	(1) にぎわい新都心まちづくりについて ア「国本地区まちづくり検討会」の設立を受けて (ア) 今後、タイムスケジュールを示して事業を着実に前進すべきと思うが。 (イ) 業者決定のプロポーザルコンペはいつ実施するか。 (ウ) 今後、事業を進めるに当たり課題は何か。				市 長
4 都市基盤整備	(1) 国道150号線バイパスについて ア 150号線バイパスの全体計画は。 イ 進捗率はどの程度か。(全体・中東遠) ウ 150号バイパスの工事が各所で進められているが、本市は路線決定も行われていない状況にある。 (ア) 現状をどう認識されているか。 (イ) 袋井市内の路線は誰が決めるのか。 (ウ) 今までの路線選定の経緯は。 (エ) 路線決定はいつまでに行うのか。 (オ) 今後の進め方は。 エ 津波に対する防潮堤の役割を果たすために (ア) 道路の計画高はどのくらいか。 (イ) 道路を高くするよう要望しては。				市 長

質問順序	5	議席番号	5	質問者	山田貴子
主 題	要 旨				答弁者
1 平成22年度主要事業について	(1) ふくろい遠州の花火開催結果について ア 「市民花火推進事業」の結果はどうであったか。 イ (仮称)「市民花火チケット」は、どのように活用されたか。 ウ 今後、継続して市として支援されるのか。				市 長
2 教育	(1) 周南中学校にサブグラウンド設置を。 ア 周南中学校のグラウンドは狭く、各部が使用する時には危険です。どのように考えていますか。				市 長
3 福祉	(1) ひとり暮らしの老人世帯や生活保護者の生活について ア 今年は猛暑が続いているが、ひとり暮らしの老人世帯や、生活保護者の世帯に対して、熱中症についてどのように指導されているのか。 イ 生活保護世帯に対して仕事のあっせんをどのようにされているのか。				市 長
4 防災	(1) 防災訓練 ア 山梨地区で行った宿泊訓練は貴重な体験だと感じました。宿泊訓練は今後も継続させていくのか。 イ 家具の転倒防止について (ア) どのくらいの家庭で転倒防止をされているのか。 (イ) 今後、未設置の家庭に対しての指導はどうするのか。				市 長



質問順序	6	議席番号	17	質問者	浅田二郎
主 題	要 旨				答弁者
1 人事行政	(1) 正規職員・非正規職員のあり方について ア 正規職員減・非正規職員増の問題点について ア) この5年間の職員の推移について イ) 住民サービスの低下について ウ) 職員の業務過多について（含む中途退職について） エ) 不安定な非正規職員の身分・待遇について（含む非正規職員任用の条件について）				市長
	イ 教職員の正規・非正規の状況について ア) 住民・正規教員・非正規教員、それぞれへの影響について イ) 幼稚園の非正規職員の問題について				教育長
	ウ 定員適正化計画の基本について ア) これまでの取り組みの問題点について イ) 自治体の役割を果たし得る職員数について ウ) 袋井市職員数の少なさについて エ) 「正規職員が当たり前」の考え方について				市長
2 地域振興	(1) メロープラザの利用について ア 3カ月余の利用状況について イ 会議室等の減免措置について ウ 多機能ホールの利用について ア) 使用料金の設定について イ) 使用料金の減額・補助について				市長

質問順序	7	議席番号	4	質問者	沼上賢次
主 題	要 旨				答弁者
1 保健衛生	(1) 子宮頸がん予防ワクチン接種について ア 国の動きを受け、子宮頸がんワクチン接種費助成についての市長の考えは。				市 長
2 福祉保健	(1) うつ病対策について ア 現代的な課題に対応するため施策の再構築が、今、強く求められている。市長の御見解はどうか。 イ 前述にどう対応されているか。また、どのような課題があるか。 ウ 認知行動療法についての認識と、新病院としてどう取り組むか。 エ 専門医の確保をするのか。				市 長
3 学校問題	(1) 教室の暑さ対策について ア 小学校の普通教室は何度あるか。 イ 扇風機が設置されている割合は。 ウ 扇風機導入をされていくのか。 エ その他暑さ対策の現状と、他市でも実施されている緑のカーテン等の今後の取り組みがあるか。 (2) 子育て支援の拡充について ア なぜ、4年生までの拡大を検討されるのか。 イ 健全育成を図る子育て支援となるよう6年生までの拡充を求めたい。 ウ 4年生までの計画は、今後どうされていくのか。				教 育 長

質問順序	8	議席番号	18	質問者	高橋美博
主 題	要 旨				答弁者
1 公共施設管理	(1) 公共施設マネジメント事業について ア 公共施設マネジメント白書を作成する考えはないか。				市 長
2 公共交通問題	(1) 新病院への交通アクセスについて ア 民間路線バスの運行の可能性はどうか。 イ 掛川市との自主運行バスの運行についての協議はどうか。 (2) 公共交通最適化事業について ア ねらいは何か。 イ 通学バスの見直しはあるか。				市 長
	ウ 学校等の社会見学等へのバスの確保は図られているか。				教 育 長
3 福祉問題	(1) 総合福祉センターについて ア 必要性の認識はどうか。 イ 袋井市民病院の施設を活用し、その機能を盛り込む考えはあるか。(保健センター、福祉・介護部門窓口など) (2) 生活保護行政について ア 総合的な熱中症対策の取り組みはどうか。 イ 生活保護世帯に対する熱中症対策はどうか。 ウ 自立支援プログラムは策定されているか。				市 長
4 教育問題	(1) のびのび園庭グリーン事業について ア これまでの実績と課題はどうか。 イ 次年度実施園の見込みはどうか。 ウ 民間幼保の園庭芝生化の助成はどうか。 (2) 小学校校庭芝生化について ア 過去の試行の結果総括はどうか。 イ 改めて実施する考えはあるか。				教 育 長

質問順序	9	議席番号	6	質問者	寺田守
主 題	要 旨				答弁者
1 地域資源の発掘	<p>(1) (仮称)大日ほたるの里公園の整備</p> <p>ア ジオパーク構想が注目される折、鮮新世の化石を多く含む大日砂層は、地域資源としても注目されると思うがどのように考えるか。</p> <p>イ 地質遺産や歴史遺産の顕彰には、教育委員会との連携が必要と思う。これまでの経過、今後の対応をどのように考えているか。</p> <p>ウ 公園建設も大詰めに来ているが、公園に大日化石の展示、発見できれば大日砂層の露頭を展示し、公園の価値をさらに高める整備をしたらどうか。</p>				市 長
2 自治会要望制度	<p>(1) 今年度の自治会要望の件数</p> <p>ア 今年6月に各自治会から提出された「要望制度」に基づく要望件数は、何件あったか。各課ごとの件数を教えてほしい。</p> <p>(2) 要望事項への対応</p> <p>ア 自治会からの要望に対し、解決した件数及びその割合はどうか。各課の達成状況を教えてほしい。</p> <p>イ 要望制度に使用している書式には、市からの回答欄がない。実施手順の中では「口頭で回答する」とうたっているが、文書での回答が必要ではないか。</p> <p>ウ 要望事項については、単年度で処理できないものもあると思う。台帳などを作成し、進捗状況を管理していく必要があると思うが、どのようになされているか。</p>				市 長
3 公共施設の管理	<p>(1) 安全性の確認</p> <p>ア 先月、掛川市で公共建物の明かり窓から子供が転落するという事故があり、一斉点検を行ったという。当市では同様の事故が発生する危険性はないか。</p> <p>イ 今年2月、エコパスタジアムの練習走路上でコンクリート片が落下する事故があった。その後、安全性は確保されたか。</p>				市 長

質問順序	9	議席番号	6	質問者	寺田守
主 題	要 旨				答弁者
4 功労者表彰	(1) 防災ボランティア活動 ア 昭和19年の東南海地震の体験者が、当時の体験を伝え、防災意識向上のための活動をしている。市としてもこれを評価し、表彰しても良いと思うがどうか。				市長

質問順序	10	議席番号	22	質問者	寺井紗知子
主 題	要 旨			答弁者	
1 介護保険	(1) 地域支援事業 ア これまでの事業の効果と課題について イ 袋井市の地域支援事業要綱を定めることについて ウ 地域支援事業の改正による影響について (ア) 二次予防事業対象者の把握方法の変更による影響は。 (イ) 対象者となる者の名称について エ 介護支援ボランティアの活動範囲の拡大について (2) ケアプラン自己作成について ア 自己作成の意義をどのように考えるか。 イ 課題として考えられることは何か。 ウ 自己作成についてのPRと支援はできるか。			市長	
2 多文化共生	(1) 在住外国人への支援（ブラジル国籍） ア 児童・生徒への支援について、現状と課題は。			教育長	
	イ 大人の日本語支援について、どのように考えるか。 ウ 聞き取りによる実態調査について エ 支援体制の整備の必要性について			市長	
3 子育て支援	(1) 幼稚園児長期休業日の預かり保育について ア 本市の現状と長期休業日の開園の必要性について イ 需要見込みはどうか。 ウ 開設の可能性について (ア) 公立園または民間委託での実施は見込めるか。			教育長	

質問順序	1 1	議席番号	1 6	質問者	大場正昭
主 題	要 旨				答弁者
1 元気なまちづくり	<p>(1) あいさつ運動の実施</p> <p>ア 家庭や地域における「あいさつ」の大切さを認識してもらうため、「あいさつ運動」を展開したらと思うがどうか。あいさつは人間社会のコミュニケーションの基本と考える。</p> <p>イ まず、以前行われていた「笑顔の咲くまちふくろい」などの標語、キャッチコピーをつくり、市役所庁内、支所であいさつ運動を実施することを望むがどうか。</p> <p>ウ 市内の小学校・中学校区において、登校時等に行われている声かけや「あいさつ運動」の現状はどうか。盛り上がるの様子は。声かけ、あいさつは、いじめ・非行の防止にも効果があると思う。</p> <p>エ また、学校教育の中で、徳育を基盤とした学校づくり、特に言葉を大切にした教育活動などと結びつけていくことも重要だと考えるがどうか。</p> <p>オ この「あいさつ運動」を市内各地域へ広げていく考えはどうか。家庭、地域で人と会ったら、人と接したら、あいさつすることを提唱したらどうか。明るく安心、安全な社会づくりにつながると思うがどうか。</p>				教育長
	<p>(2) 高齢化社会の進行とその対策</p> <p>ア 市内及び地区ごとの高齢化率、年齢別人口はどうか。今日までの推移をどうとらえ、今後の予測、将来人口の推計は。出生率の低下により、社会の高齢化が進み、さらに健康寿命の伸び、少子化等の要因が複合的に重なっていると言われていたが、我が市はどうか。</p> <p>イ 今後、過疎化が進み、地域社会の機能が低下したり、ある程度の生活水準を維持することができなかつたりすることが予想されるがどうか。例えば、①生活バス路線がなくなる。②買い物をする店がなくなる。③農地が荒れる。などについては市として、どう考えるか。</p>				市長

質問順序	1 1	議席番号	1 6	質問者	大場正昭
主 題	要 旨				答弁者
1 元気なまちづくり	<p>ウ 今回の防災訓練でも行われた各家庭の人員点呼など、ひとり暮らし家庭や老々介護のお宅への生存確認は万全か。情報伝達が困難な地域への新たな連絡の手段・方法として、ケーブルテレビのサービスエリアの拡大を図ったらどうか。</p> <p>エ 市内の地域でも社会的機能を果たさない限界集落に、いずれ近づくことも考えられるが、市としての名案はあるのか。豊かな自然環境に恵まれている我が市に都会から人を呼び込むことを考えてはどうか。過疎化対策の今後の方向性は。</p> <p>オ 自治会組織のあり方、役員の高齢化が深刻な問題となっている町内、地域もあると聞くが、その対策・対応はどうか。</p>				市 長
2 社会福祉	<p>(1) 介護支援ボランティア制度</p> <p>ア 介護施設などで高齢者の社会貢献活動を促すため、ボランティア制度を導入する市町村が増加していると聞く。その先駆けとなり、今年度導入した我が市の状況はどうか。また、これらの課題・問題は何か。</p> <p>イ 具体的な課題の例として、実際の介護予防につながっているか。施設職員の負担軽減の効果が見込まれるか。活動や作業がボランティアの対価に結びついているか。などの点についてはどうか。</p> <p>ウ ボランティア支援員の方の「活動に参加し、張り合いが出た。」「自分自身を見直すきっかけになった。」などの感想、思いを胸に、これからこの制度をどのように継続していくのか。今後のさらなる取り組みについてはどうか。</p>				市 長
3 市総合計画	<p>(1) 後期計画のスタートと23年度予算方針</p> <p>ア 学校教育施設整備、ごみ焼却施設建設、地域交流プラザ整備事業など、終了後、後期基本計画の中で、ハード的な事業が少ないように思うがどうか。JR袋井駅舎・周辺地区整備や国本にぎわいまちづくり事業などを着実に進めてほしい。さらには、今後、主に進めていくものには、どのようなものがあるか。</p>				市 長



質問順序	1 1	議席番号	1 6	質問者	大場正昭
主 題	要 旨			答弁者	
3 市総合計画	<p>イ 市民と行政の連携、農を活かしたまちづくり、共に生きる社会づくりなど、ソフト事業の充実をどう図っていくのか。経営方針や政策別計画の中にも、抽象的な表現が多く、具体性に乏しいと思うがどうか。</p> <p>ウ 平成23年度予算編成を迎え、今後の財政見通しについて、どう考えているか。市民サービスの向上や総合計画を進める上で、どのように主要事業を遂行していくのか。財政の健全化と事業展開のバランスをどう図っていくのか。</p>			市長	

質問順序	1 2	議席番号	1 4	質問者	高木清隆
主 題	要 旨				答弁者
1 健康づくり	<p>(1) 身近なスポーツ振興について</p> <p>ア グラウンドゴルフ振興について</p> <p>(ア) グラウンドゴルフ愛好団体数と総人数及び取り組みの成果をどうとらえているのか。</p> <p>(イ) 練習場の確保状況について把握しておられるか。</p> <p>(ウ) 生涯スポーツに取り組める環境整備に取り組む考えはあるか。</p> <p>イ 少年・壮年野球の振興について</p> <p>(ア) スポーツ少年団等を含め、少年・壮年のスポーツへの取り組みをどうとらえているのか。</p> <p>(イ) 少年野球・壮年野球の拠点の位置づけの考えはあるか。</p> <p>(2) スポーツ外傷対策について</p> <p>ア スポーツ外傷の傾向を把握されているのか。</p> <p>イ スポーツ外傷防止対策と初期の基本的治療の周知は図られているのか。</p> <p>ウ マウスガード着用を推奨する考えはあるか。</p>				市長
2 自治体経営	<p>(1) 人材育成への取り組みについて</p> <p>ア 組織総点検と診断をする考えはあるか。</p> <p>イ 将来に向けた袋井市の行政経営のあり方について、どう考えているのか。</p> <p>ウ 人材育成に対するプランはあるのか。</p> <p>エ 庁内公募型人事制度を導入する考えはあるか。</p>				市長